

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本競技会は2025年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 競技場の入場及び競技者受付と競技者インフォメーション（T I C）について

- (1) 競技場への入場は、係員の指示に従って行動すること。
- (2) 学校・団体受付をT I C（東門入退場口外の駐車場に設置予定）にて行う。
- (3) 開門時刻は、全日程8時00分（予定）とする。ただし、棒高跳の選手は、会場準備が整い次第、入場できる。
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、整列して待つこと。
- (4) プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、競技開始前までに大会本部に申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。

3 競技者招集について

- (1) 招集場所は、100mスタート地点後方に設ける。ただし、棒高跳のみ、現地招集とする。
- (2) 所定の時間に遅れないようにし、点呼は必ず本人が受けること。招集に遅れた者は棄権と見なし、出場を認めない。
- (3) 各種目の招集時間は、競技開始の時刻を基準として下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド種目	競技開始40分前	競技開始30分前

- (4) 招集の方法
 - ① 招集開始時刻に、招集場所で競技者係の点呼を受ける。その後は、その場を離れず係員の指示に従う。
又、トラック種目のみ腰ナンバー標識を受け取る。
 - ② 携帯電話など、競技規則第144条3（b）に関わる機器は、競技場内に持ち込むことは出来ない。
 - ③ 招集場所から本競技場への入場は全て係員の指示に従う。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識は、主催者が用意する。
- (2) アスリートビブスは胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、ランニングパンツの右側上部、記載の数字が身体の真横の位置となるように注意して付けること。

5 競技方法について

- (1) トラック種目
 - ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
 - ② 走路順については、プログラム記載順とし欠場者が出た場合は、そのレーンは空けて競技を行う。
 - ③ 短距離走では、競技者の安全の為にフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ④ 小学生のスタートについて
スタート合図は日本語で行い、同一人が2回不正出発した場合のみ失格とする。又、小学生のスタートは、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 - ⑤ 長距離種目について
出場人数によっては、安全確保の為にグループスタートを採用する。
 - ⑥ リレー競技について
○リレーオーダー用紙は2部作成し、**招集完了1時間30分前までに招集所に提出**すること。
(オーダー用紙は、競技者係に備えてある。)

○リレーに出場出来る選手は、東京都中体連陸上競技専門部の申し合わせ事項と同様に、各リレー種目にエントリーしている選手のみとする。

○リレーオーダー用紙の監督署名には、必ず所属チームの監督者のサインを記入する。

⑦ハードル種目は次の規格で行う。

種目	スタートから1台目	高さ	インターバル	台数	最終ハードル〜フィニッシュ
男子110mH	13.72m	0.914m	9.14m	10台	14.02m
女子100mH	13.00m	0.762m	8.00m	10台	15.00m

(2) フィールド種目

①フィールド種目における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

②走幅跳、砲丸投の試技は、一人3回とする。

③走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。但し、諸条件(悪天候)などにより審判長の判断で高さを変更することもある。

④棒高跳については、当日、各競技者自身が、Aピット、Bピットどちらで試技を行うかを決定する。

区 分	練習時	最初の高さ	バーの上げ方
中学男子	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0 - 4 5 - 5 0 - 5 5 - 6 0 - 6 5 - 以降 3 c m
中学女子	1 m 1 0	1 m 1 5	1 m 2 0 - 2 5 - 3 0 - 3 5 - 4 0 - 4 5 - 以降 3 c m
棒高跳 (Aピット)	2 m 8 0 3 m 2 0 3 m 6 0	2 m 6 0	2 m 7 0 - 8 0 - 9 0 - 3 m 0 0 以降 1 0 c m
棒高跳 (Bピット)	1 m 8 0 2 m 2 0 2 m 6 0	1 m 6 0	1 m 8 0 - 2 m 0 0 - 2 0 - 3 0 以降 1 0 c m

(3) 競技用靴について

① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。

② 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

- ・トラック種目 (800m未満) 20mm
- ・トラック種目 (800m以上) 25mm
- ・フィールド種目：日本陸上競技連盟から発出された、TR5.5の適用除外措置を適用する。

(4) 投てき用器具について

投てき用器具の重量は次の通りとする。

種目	重量	種目	重量
共通男子 砲丸投	5.000kg	共通男子 円盤投	1.500kg
共通女子 砲丸投	2.721kg	共通女子 円盤投	1.000kg

6 その他

(1) 競技場内における貴重品の管理は、各自の責任において行う。

(2) 競技者の変更は、一切認めない。

(3) 競技中に発生した傷害、疾病については、応急処置のみ本部で行うが、以後の処置は各自で行う。

(4) グラウンド内での飲食、喫煙などは禁止する。

(5) 瓶、カン、ペットボトル類の持ち込みは禁止する。(持参した場合は、各自で必ず持ち帰る)

(6) ゴミ類は必ず各自で持ち帰る。又、競技場周辺や地域にも捨てていくことはしない。

(7) フィールド内の芝生は、使用禁止となっているので決して入らない。

(8) 100mスタート後方の駐車場(第4駐車場)については大会運営関係者のみの駐車とする。

(9) 本部前は通行禁止とする。又、セーフティーコーンなどの設置場所にも絶対入らない。

(10) 最寄りの駅より(南大沢駅)より競技場の行き来については、住宅内を通らず首都大学沿いから柳沢公園の交差点までいき、上柚木公園までお越してください。大会などへの行き来において、参加者によるマナーがとても悪く、地域住民の方々へ大変ご迷惑・ご心配をお掛けしています。

記録証、賞状の配布について

- 競技者全員に記録証を配布する。記録証は大会終了後、記録室入り口の廊下壁面に参加団体毎の封筒に用意してあるので、役員に声を掛け受け取る。
- 各種目総合順位で、上位記録8位までに入賞した競技者には、賞状を授与する。
賞状の配布方法は、記録証同様大会とする。尚、大会新記録を樹立した競技者は放送で呼び出しをするので、速やかに本部まで来ること。その後、本部前で授与式を行う。